

地域懇談会はじまる

全国14か所で開催

二〇一〇年度地域懇談会が六月五日の大阪と香川会場を皮切りにスタートし、七月中旬にかけて全国十四カ所で開催される。地域懇談会は、学生の保証人を対象に、大学の最新動向や学業・就職状況などについて説明を行う、ご父母と大学のコミュニケーションの場となっている。

六月十二日の東京会場は、神・文・総合人間科学部の各学部を対象に行われ、約四百人が参加した。全体集会では、高祖敏明理事長から、教育・研究環境の整備に向けた新たな取り組みとして、文部科学省国際化拠点整備事業(グローバル30)の実施を通して、国際教育

の育成を目指す等の説明があった。また、医学や看護系の学部ではなく、総合人間科学部に看護学科を設置する申請を文部科学省に行ったことや、韓国の西江(ソガン)大学とのスポーツ・文化交流など、世界のイエズス会系大学等との連携強化に取り組むことを紹介した。



キャンパスツアーを実施

フラメンコを披露

引き続き、石澤良昭学長が、本学の教育・研究の現況や特色を説明。「本学は、創立当初から東西の文化交流を目的のひとつに掲げており、その実現のために語学教育を重視し、国際社会で活躍する人材の養成に努めている」と述べた。

創立百周年記念 募金だより ③

第51回 上南戦 実行委員会からのご寄付

六月十七日、第五十一回上南戦実行委員長の伊東誠一さん(理情報三)から、上南戦Tシャツの売上金五万円が石澤学長の贈呈となった。

今大会(記事4面)は



学長に贈呈する伊東さん

ロゴ入りワッペン

「学生自身の創立百周年への意識が向上し、百周年に参画しているという気持ちが高まった」と語った。

近頃、体育会他各部のOB会や卒業生個人から

募金受付状況(2010年5月31日現在)

	件数	金額
ご父母(大学・短大)	3,642	162,102,995
卒業生(大学・短大・社専)	9,244	395,447,609
教職員	1,813	82,117,118
企業	269	917,280,420
団体(大学・短大・社専)	369	108,888,384
篤志家など(SJを含む)	122	379,603,652
合計	15,459	2,045,440,178

注1)入金件数/金額を集計しています。注2)分割払い、給与天引による寄付は、その都度、件数にカウントされています。

ます。地球市民を育て、研究成果を上げるとともに質の高い教育を継続的にするために、今後ともご支援、ご協力をお願いいたします」と語った。

新司法試験結果

私学で3位の合格率

六月三日、法務省司法試験委員会は、五月に実施した新司法試験の受験者八百六十三人のうち、法律の基礎知識を問う短答式試験の合格者は五千七百七十三人であったと発表した。

(別表)平成22年度新司法試験 短答式試験結果
*受験者数100人以上、合格率上位20位

順位	大学名	受験者数	合格者数	合格率(%)
1	慶応義塾大	355	310	87
2	東京大	411	356	86
3	北海道大	144	125	86
4	中央大	439	377	85
5	京大	277	236	85
6	一橋大	138	116	84
7	東北大	159	133	83
8	神戸大	144	118	81
9	大阪大	180	145	80
10	上智大	168	128	76
11	首都大	101	77	76
12	明治大	335	254	75
13	同志社大	262	195	74
14	名古屋大	139	103	74
15	早稲田大	397	291	73
16	大阪市立大	119	87	73
17	法政大	165	119	72
18	関西大	220	155	70
19	関西学院大	182	124	68
20	九州大	175	119	68
	立命館大	249	164	65

*合格率の小数点以下は切り捨て。

産学技術交流会

SLO/研究支援センター共催

上智大学理工学部エゾノオフィス(SLO)は、五月三十日の「オーソフィア」の集いの企画として「産学技術交流会」を研究支援センターとの共催で開催した。交流会の内容は例年行っている理工学研究科の八領域(機械工学、電気電子工学、応用化学、化学、



理科の面白さを伝授

とホンダが考えるハイブリッド車の今後」というテーマで、トヨタ自動車株式会社H.V.(ハイブリッド)システム開発統括部の朝倉吉隆氏と、株式会社本田技術研究所四輪R&Dセンターの北見康

今月初めて行った「子供向けイベント」では、「光ファイバー」光を閉じ込めた棒(下村和彦教授/機能創造理工学部)、「次々と色が変わる溶液」(橋本剛助教/物質生命理工学部)、「不

夫人(八二年理機卒)に話を聞いていただいた。会場は百人を超える参加者でほぼ満席となり、各講演終了後には質疑も活発に行われ、ハイブリッド車に対する世の中の関心の高さが伺えた。講演終了後は、展示ブースを設けた教室で懇親会を行い、久々に再会した卒業生が旧交を温める場面が多く見受けられ、講師の「見て楽しむ科学!」がソフィア会の協力もで行われた。

講演会では、「トヨタとホンダが考えるハイブリッド車の今後」というテーマで、トヨタ自動車株式会社H.V.(ハイブリッド)システム開発統括部の朝倉吉隆氏と、株式会社本田技術研究所四輪R&Dセンターの北見康

後援会総会を開催

石澤学長の講演も

五月三十日、在校生交際の団体「上智大学後援会」の総会(写真)が十号館講堂で開催され、役員と会員約七十人が出席した。



上智大学後援会は、本学の教育・研究の充実に向け、物心両面で支援する団体で、在校生のご父母が任意で加入している。

総会では、二〇〇九年度事業報告・決算と二〇一〇年度事業計画・予算、役員改選案などが承認された。岡部昇前会長

後援会は学生諸君の私設応援団

新会長 南方靖彦



皆さん、上智大学後援会をご存知でしょうか?後援会は、強い情熱をもって「世界に並び立つ大学を目指し、

広報ビデオを制作し、広く後援会の活動を情宣して参りました。教育への深い愛情を持つ

皆さん、上智大学後援会をご存知でしょうか?後援会は、強い情熱をもって「世界に並び立つ大学を目指し、

広報ビデオを制作し、広く後援会の活動を情宣して参りました。教育への深い愛情を持つ